

土木工学科 シラバス(授業計画)作成要領 (土木工学科 JABEE 対応シラバスの作成)

土木工学科教育点検 WG

土木工学科シラバス作成における JABEE 基準に適合した書き方・作成の方法は、学部作成の「シラバス(授業計画)作成要領」に依ります。学部作成の「要領」は、JABEE の基準をほぼ満たしますが、その中で、特にご注意頂きたい点、JABEE の基準に不足する点について、加筆して以下に示します。

1. 科目名・英語科目名・単位・担当者・開講学期・開講学科・必修/選択
教務課にてデータを作成し登録します。また、必修/選択の区分は登録期間終了後に教務課で一括登録を行いません。
2. 授業の概要(文字・行制限:全角 74 文字×8 行以内)
 - ① 教育目標
当該授業が、受講生に何を獲得させることを目標にしているのかを記述します。その際に「～を理解する」、「～ができるようになる」など、具体的な達成目標を箇条書きで記述してください。
 - ② 授業の概要
授業内容の概要、および、教育目標を達成するための授業方法について記述してください。
3. 授業計画(文字・行制限:全角 36 文字×24 行以内×2 面)
 - ・ 授業を 15 回に区分して(半期の科目)、1 回目から 15 回目まで毎回の授業計画を作成してください。15 回目に授業内試験を行なう場合には、「授業内試験および解説」と記述してください。
 - ・ 15 回区分が原則ですが、授業の性格上、どうしても回数に分けて作成できない場合は、授業回数 2 回分程度を 1 区分として下さい。授業回数 3 回以上を 1 区分とすることは、できるだけ避けて下さい。
 - ① 受講に当たっての留意事項
関連授業科目、履修順序、授業の運営方法、受講生への要望などを記述してください。
記述例：
 - (1) 関連授業科目は「○○」、および、「△△」であり、あわせて履修することが望ましい。
 - (2) 毎回授業の最後に小テストを実施する。解答はポータルサイトの「授業資料」にアップするので、必ず復習すること。
 - (3) 講義中に随時、教科書中などの演習問題を行い理解の助けとする。また、自習のため適宜宿題も出す。
 - (4) 授業中の私語は厳禁。
 - (5) 座席は 2 人がけの固定席である。最初の授業の時に座席を決める。
 - ② 達成度評価の方法
教育目標に対する達成度を、授業内容のどの部分で、どのような方法で評価するのか記述してください。また、評価における教育目標の達成割合も記述してください。なお、評価は複数の方法で行うことを基本としてください。
記述例：
 - (1) 「○○」、「△△」、「□□」、および、「**」(○○、△△等の記号には、授業内容または単元が入る)のそれぞれについて、理解度を調べるため毎回授業時に小テストを行なう。これらの全項目について定期試験で総合的に達成度を評価する。小テ

ト・定期試験共に、評価における「達成目標①」、「達成目標②」、および、「達成目標③」の割合はそれぞれ、35%、35%、および、30%である。

- (2) 各項目の学習後に、レポート問題により各項目の理解度を調べ、中間達成度を点検する。定期試験ではこれら全項目について、総合的に達成度を評価する。小テスト・定期試験共に、評価における達成目標①、②、③の割合はそれぞれ、35%、35%、および、30%である。

③ プログラムの達成目標との対応

プログラムの学修・教育目標の達成に、どのように寄与するかを記述します。土木工学科学修・教育目標と科目の対応表を参照の上、必ず記述してください。また、6年次生以上(平成 24 年度入学生以前)では、対応する学修・教育目標が異なりますので、できるだけ 6 年次生以上に向けた記述もお願いします。

なお昨年度から、『学習・教育到達目標』、『学習・教育目標』を、『学修・教育目標』に文言を統一しました。

記述例:

- (1) この科目は、土木工学科プログラムの学修・教育目標のうち(A)の達成に寄与する。
 (2) この科目は、土木工学科プログラムの学修・教育目標のうち(A)の達成に寄与する。また、6年次生以上では、(A-1)の達成に寄与する。

4. 授業を受ける前の準備学習等(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)

この授業を受ける前に受講すべき授業名や、学習しておくことを記述してください。

記述例:

- (1) 化学 I のモル計算を復習しておくこと。
 (2) 教科書を事前に通読しておくこと。

5. 成績評価法(文字・行制限:全角 70 文字×1 行以内)

評価方法の評価に占める割合(%)と合格点を、必ず具体的な数値で明記してください。合格点は必ず、60 点以上としてください。このことは、学部要覧に記載されています。出席点を成績評価に含めても構いませんが、a)出席点の割合は、30%程度以下を目安にし、b)「出席点」ではなく、「授業への積極的参加」や、「口頭試問点」等、具体的な出席点の評価方法を記述してください。また、出席数が不良の学生が合格しないように、出席数の目安を必ず、具体的に記述してください。なお、土木工学科では、原則として出席点は認めず、また、出席数は全出席を原則とし、やむを得ない理由で欠席した場合でも、2/3 以上の出席を成績評価の基準にしています。

記述例:

- (1) 定期試験 60%、レポート 20%、小テスト 20%を総合して 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。但し、出席数が 2/3 以下の学生は、採点しない。
 (2) 実技試験 40%、レポート 20%、筆記試験 10%、授業への積極的取り組み 30%を総合して 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。全出席が原則である。やむを得ない理由の欠席でも 2/3 以上の出席がない者、また、レポートを提出しない者は、受験資格を失う。

6. 教科書(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)

書名、著者名、出版社名。定価等を記述してください。教科書を使用しない場合は「プリントを使用」、または、「用いない」としてください。

7. 参考書(文字・行制限:全角 70 文字×2 行以内)

必ず 1~2 冊指定してください。適当なものが未定の場合は「授業中に指示する」でも結構で

す。

8. オフィスアワー（文字・行制限：全角 70 文字×2 行以内）
オフィスアワーは、必ず設定して記述してください。
- ・ 週に 1 回はオフィスアワーを設け、曜日・時間・場所を明記してください。
 - ・ 1 回あたり 90～120 分程度として設定してください。
 - ・ 実験科目などの必修科目の時間帯での設定は、可能な限り避けてください。
 - ・ 質問等で来室する学生に対して持参するものなどがある場合は、その旨記述してください。
 - ・ メールによる質問を可とする場合は、その旨記述してください。

〔非常勤講師の先生へ〕

- ・ 非常勤講師の場合は、部屋名等(号館階室)の連絡できる場所を記載してください。
- ・ 時間外の学生の質問に対応するために、メールアドレスのご記入をお願いします。授業用メールアドレスの作成、および、設定が事情により困難な場合には、大学で作成可能ですので、ご連絡ください。(連絡先 ☎024-956-8622)

9. 備考(文字・行制限：全角 70 文字×2 行以内)
必要がある場合に記載してください。

10. URL(文字・行制限：全角 70 文字×1 行以内)
ホームページ以外で学生に閲覧させたいコンテンツ等がある場合、リンク先の URL を記載してください。なお記載に当たっては、リンク可能であることを必ず確認すると共に、内容を確認し、大学として推奨できるもののみとしてください。

11. その他

- ・ 同一科目を複数の教員が担当する場合、教育内容や評価に関し、担当方で学生に不利益が生じないよう、緊密に連絡を取ってください。
- ・ 成績評価で用いた代表的な答案(期末テスト、定期試験)等で、採点結果が 60～69 点の答案を、速やかに提示できるようにしてください。また、これらのうち最低 1 部を複写したものは、講義自己点検記録として提出して頂きます。ここで、提出して頂く答案は、学生の最終評価での可否とは関係なく、その答案単独での結果が 60～69 点であることにご注意ください。(最低評価点で合格した学生の答案類をまとめることは不要です。)
- ・ 複数の方法で評価を実施した場合、それぞれの評価点数を示す一覧表を作成して下さい。また、評価に用いた試験類、レポート類、作品類、実技試験や口頭試問での問題の内容を記述した用紙と、それらの正答例、および、配点を記載したものを、必ず準備して下さい。これらは、講義自己点検記録として提出して頂きます。

【シラバス作成における問い合わせ先】

土木工学科教育点検 WG ☎024-956-8705(土木工学科センター)
センターから WG 構成教員に転送致します。

以上